

日本病院会ニュース

発行所 一般社団法人
日本病院会
〒102-8414
東京都千代田区三番町 9-15
TEL 03-3265-0077
http://www.hospital.or.jp/
※印刷費 6,000円(送料別)
※購読料(年間) 6,000円(送料別)
※毎月 10日、25日発行
発行人 相澤孝夫

病院総合医養成の申請始まる

専門領域の細分化が医療界に進む一方で、多くの疾患を同時に抱える高齢患者は増加している。そのため、幅広い知識と経験を有し、多様な病態を診ることが出来る医師の需要が高まっている。患者の視点に立ちつつ、必要な場面に専門科へ速やかに依頼し、多職種の調整を行える能力も必須だ。日本病院会は病院総合医の養成に向け、10月10日から



研修施設の申請受付を開始した。今後6年目以降の医師を対象に、原則2年間のプログラムを実施する。病院総合医の養成を通じ、院内の複数の診療科や多職種間の連携、さらには地域全体の医療と介護の連携まで視野に入れた総合的な医療の実現を目指す。同事業の開始にあたり、担当する末永裕之副会長に寄稿いただいた。

(2面に関連記事)

9月30日の日本病院会 病院総合医の育成事業理事会で、日本病院会認定の施設で病院総合医プログラムを育成していくことが、ラム基準細則、チェックリスト等が承認された。育成プログラム基準・細則10月3日より日本病院会等をもとめた「専門医にホームページに」日本 関係する委員会、病院総病院会認定 病院総合医 合医に関するワーキング育成事業のご案内」が掲「グループ」の先生方には載され、10月10日から「深く感謝を申し上げた成プログラム(カリキュラム)の受付が開始された。民間病院、国立病院構、JCHO、全国自治善がみられず、多疾患を 体病院協議会、日赤、済抱える高齢者がますます 生会、厚生連等多くの病増えるにもかかわらず専 院団体から成る日本病院門領域しか診ない医師が 会で、出身母体が異なっ増えてきており、病院に ても病院総合医を相互認おける総合医の育成が各 証する」という日本病院会方より求められてい 認定の病院総合医構想がた。そのような背景のな 出てきたのは約1年前で、か日本病院会が認定す あった。その後民間病院

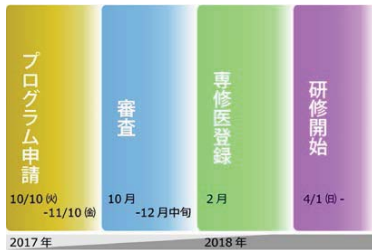
院内・地域で活躍を期待

末永 裕之 副会長

特別寄稿

の代表も含めた委員会、グラム基準細則等が決められていった。

リストの育成が 単に便利屋として有用な病院総合医を目指すというのではなく、院内から始まり、目 合医を目指すしており、今標とする病院総合 後、日本病院会として認定をしておく病院総合 医像、そして育成 定をしていく病院総合 方法の基準等に関 が活躍し、その活動する しての議論を進め 姿を目にして、さらに病 きた。ミニマム 院総合医を目指す若い医 リクワイアメント、 師が増えいくことを期 多くの病院が参加 日本病院会病院総合 しゃやく、しかし 育成プログラム基準の理 日本病院会が認定 念では①多様な病態を呈 する以上それなりに 柔軟に対応できる②複数 に置の担保がされ 医の育成プログラム 生活等の分野と連携、調 ③地域包括ケアシステ ムのなかで中心的作用



を担うことができる④チ ム医療を推進すること ができる⑤病院だけでな く地域医療にも貢献でき る医師を目指すことが掲 げられている。また、到 達目標、研修の方法、研 修の評価、病院総合指導 医等についても記述があ るが、指導者の要件に関 しては、現在、各病院に 病院総合医の指導者がい ないために臨床研修指導 医講習会修了者または病 院管理者としている。 病院総合医育成プログ ラム基準細則では参加要 件・対象病院に関して、 育成プログラム基準の理 た場合1年間研修期間を 短縮することが 可能である。 育成プログラ ム(カリキュラ ム)の作成は育 を発行し、2月に病院総 成プログラム基 合専修医の登録をすませ たうえで4月から研修開 始の運びとなっている。 病院で病院総合医を育成 するこの企画に多くの病 院が参加し、それぞれの 病院の質向上にもつな が キュラムを例示 することを期待している。

念に賛同し、病院総合医 して利用するため、利用し て育成することを指す いたただきたいと考えてい る。また、チェックリス 日本病院会の会員病院と し、研修対象者を卒業6 ト、各種セミナー参加に 年以降の医師として、 関しても記載されてい 研修する医師の名称を る。さらに、研修の評 価、申請・登録、病院総 合指導医、休止・辞退も 含め、詳細に記述され ているので、参考にして いただく。